



三井化学 「強く」そして「いい会社」として、持続可能な発展を目指していきます

三井化学株式会社 代表取締役 副社長執行役員（CFO） 久保 雅晴

このたびは、化学・繊維部門においてディスクロージャー優良企業に選定いただき、誠にありがとうございます。

4年連続4回目の受賞となりましたが、ひとえに関係者の皆さまのご支援とご理解によるものと、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

当社グループは、2017年度にスタートした長期経営計画「VISION2025」に基づき、「新たな顧客価値の創造」をコンセプトに、自動車材料を中心とした「モビリティ」、メガネレンズ用材料等の「ヘルスケア」、包装材料や農薬等の「フード&パッケージング」といったターゲット領域と、産業や社会を支える「基盤素材」領域において、グローバルに事業展開を行っています。また、ターゲット領域の境界・外縁領域の「次世代事業」を加え、5つの事業領域において、持続可能な成長・発展を目指すとともに、社会課題の解決に向けた取り組みを進めています。

この一年間の事業環境を振り返ると、米中貿易摩擦や中国経済の減速、地政学リスクの高まりなど、世界経済を取り巻く環境は大きく変わり、その変化のスピードもますます加速しています。同時に、気候変動やプラスチックごみ問題など、化学業界や社会全体で取り組むべき課題も明確となり、SDGsの広がりにも象徴されるように、サステナビリティがキーワードとして定着し、企業に対するESGへの取り組み要請が高まっています。企業価値を高めるためには、社会的な価値を創出していくことがますます重要になっています。

IR活動については、社長をはじめとする経営陣や、グループ各部門が一体となって取り組んでお

り、公平で適時適切な情報発信を基本姿勢に、株主・投資家・アナリストの皆さまとの「対話」を重視して進めています。

経営概況説明会や各種スモールミーティングの開催、国内外の投資家訪問の実施など、対話機会の充実に努め、当社グループの経営戦略や経営計画へのご理解を深めていただくとともに、皆さまの声を真摯に受け止め、資本提供者の視点からの経営分析や意見を聴取、次の対話に反映させることで、当社グループの中長期的な企業価値向上につなげています。また、IRツールのひとつとして、統合報告書「三井化学レポート」を発行しています。当社グループへの理解をより深めていただくとともに、当社グループの推進する戦略や実績を財務／非財務両面から統合的に報告するよう努め、“質の高い対話”のプラットフォームとなる分かりやすい報告を目指し、これからも改善を図ってまいります。

化学は社会の基盤を支え、持続可能な発展に向けて、これからも様々なイノベーションの起点になっていくべき産業です。当社グループは、収益面で「強い」会社であると同時に、ESGを経営の中核に据え、活力ある企業文化を基盤とする「いい会社」を目指していきます。株主・投資家・アナリストの皆さま、当社グループを取り巻く様々なステークホルダーとの信頼関係を維持・発展させるため、グループ全体での積極的なコミュニケーション活動に努めてまいります。

引き続きご支援賜りたく、よろしくお願い申し上げます。